

# 【会議録】

会 議 名	第3回カナルサイド高浜の建替に伴う私立認可保育園整備・運営事業候補者選考委員会
開 催 日 時	令和6年3月26日（火）18時00分から20時00分まで
開 催 場 所	港区役所 9階915会議室
委 員 員	（選考委員） 岡田委員、小池委員、石井委員、中島委員、桑原委員
事 務 局	子ども家庭支援部子ども政策課長、子ども政策推進係長、子ども政策推進係職員
会 議 次 第	1 開会 2 議題審議 議題1 第二次審査（プレゼンテーション及びヒアリング）について 議題2 整備・運営事業候補者の決定について 3 閉会
配 付 資 料	【席上配布資料】 次第 資料1 第3回カナルサイド高浜の建替に伴う私立認可保育園整備・運営事業候補者選考委員会タイムスケジュール 資料2 第二次審査選考基準・採点表 資料3 第3回カナルサイド高浜の建替に伴う私立認可保育園整備・運営事業候補者選考委員会採点集計表 資料4 第2回カナルサイド高浜の建替に伴う私立認可保育園整備・運営事業候補者選考委員会会議録 資料5 事業計画書概要版（3事業者）

会議の結果及び主要な発言

(発言者)	
	1 開会 (開会の挨拶)
	2 議題審議
委員長	議題1 第二次審査(プレゼンテーション及ヒアリング)について まず、議題1、第二次審査(プレゼンテーション及ヒアリング)についてです。事務局からご説明をお願いいたします。
事務局	(事務局説明)
	(A事業者入室) (プレゼンテーション)
E委員	施設運営の考え方について質問します。 子育て支援サービスの充実という項目に、地域の方も利用できるスペースとしてペアレンツ・カフェを設置するとありますが、具体的な利用のイメージを教えてください。
A事業者	妊娠期の方や保育園に興味を持った方をサポートしていく場所づくりという意味合いがあり、保育園に入っていない地域の方も利用していただくことを想定しています。
E委員	具体的には園のどの位置につくる予定でしょうか。
A事業者	1階の玄関を入れて正面のスペースに設置する予定であり、モニターを設置して保育園の様子も感じていただくことを考えています。
E委員	2つ目は施設長候補者に伺います。 保育の質の向上のために経験の浅い保育園のやる気を引き出す、とありますが、どのように引き出すのか考えを教えてください。
A事業者	園の行事を職員それぞれに担当させ、責任感を持たせるとともに、若手からの新しい意見も積極的に採用することで、やる気を大切に育んでいきたいと考えています。
B委員	特色ある保育についてお聞きします。 専門講師による体操や英語等のプログラムですが、無料ということによろしいでしょうか。
A事業者	はい。

B委員	<p>港区には多国籍の子どもがいますと思いますが、そういった子どもに対し、母国に対するアイデンティティを保ったまま日本に溶け込ませたいと考えていますか。</p>
A事業者	<p>日本語を全く話せない保護者や子どもの利用も過去に経験しており、ジェスチャーや本部の通訳を活用し、コミュニケーションを取ってきました。</p> <p>また、アイデンティティを保つために出身の国を紹介したり、その国の料理を園児と作ったりしています。そういったことを保護者の方にも伝えると喜んでいただけますし、コミュニケーションの促進にもなっています。保育園が第2の故郷のような場所になってくれたらいいと考えています。</p>
C委員	<p>子育て支援についてお聞きします。</p> <p>マイ保育園制度と記載されていますが、誰がどこで生まれたかなど、自治体との連携が必要になりますが、港区で行われていないマイ保育園制度をどのように実施しようとされているか教えてください。</p>
A事業者	<p>当社の考えるマイ保育園制度は、園見学に来た方に登録をしていただき、子育てイベントへの招待を行い、イベントに来ていただくというものです。</p>
C委員	<p>次に、外部講師を招いて英語を行っているとのことですが、対象の子どもの年齢と月何時間程度行っているかを教えてください。</p>
A事業者	<p>1歳から開始し、月に2回程度実施しています。</p>
C委員	<p>低年齢児の子どもが二つの異なる言語を浴びる危険性をどのように考えていますか。</p>
A事業者	<p>言語を浴びるというよりは、国籍の違う方とのコミュニケーションに物おじしない心を養っていくところに重きを置いています。</p> <p>具体的には歌と一緒に歌ったり、ゲームを楽しんだりすることを考えています。</p>
D委員	<p>職員体制について、施設長候補者に質問です。</p> <p>ペアレンツ・カフェやマイ保育園、地域の子育て支援などを行うとのことですが、保育士の人数は基準ぎりぎりの配置としています。この配置で園としてどのように運営をされる考えか教えてください。</p>
A事業者	<p>地域の子育て支援については、保育園体験のようにクラスに入って交流をしていただくイベントなどを考えています。その帰りに相談したいことがあればカフェなどを活用して施設長が相談に応じることも考えています。</p> <p>また、子育てイベントが終わった後に保護者同士がお話しをすることや絵本の紹介スペースとしてもカフェを使うことも考えています。</p>

D委員	3～5歳についてはオープンな保育室のようだが、どのような保育形態を目指しているのでしょうか。異年齢保育などを実施するのでしょうか。
A事業者	3～5歳については1日を通して一緒に保育をするというよりは、場面によって年齢別と異年齢の保育を柔軟に使い分けたいと思っています。
D委員	施設長として、これだけは負けない、港区としての保育に生かせるというものはありますか。
A事業者	<p>トラブルの未然防止です。保護者や職員、子どもとの日々のコミュニケーションを大切にしており、少しでも気になったことはお話しをするなど、すぐに対応することを心がけています。</p> <p>その結果、勤務園における今年度の第三者評価では、保護者満足度 96%という評価もいただきました。</p>
D委員	最後に、職員育成で一番大事にしていることは何でしょうか。
A事業者	職員のやる気を引き出すことを大事にしています。実際には、職員の好きなことや長所を伸ばす手助けをするとともに、不得意なこともアドバイスをしながら支援をしています。そして、職員自身が成長し、楽しく働くことで、子どもたちにも良い影響があると考えています。
A委員	今回の保育所ならではの特色について教えてください。
A事業者	<p>1点目は、未来を担う子どもを育てる環境を設定している点です。STEAMS保育という言葉を使っていますが、予想できない未来や変化していく世界を生き抜くため、ラボや緑の空間、異年齢保育の実施といった環境を設定しています。</p> <p>2点目は、地域への子育て支援への注力です。国全体の少子化傾向は止められるものではなく、日本の将来を担う子どもたちやその保護者を、ペアレンツ・カフェなどを通してサポートしていきます。</p>
A委員	想定している事業に対して保育士が少なく思えますが、これまでの実績等を踏まえた人数なのか教えてください。
A事業者	<p>この人数は最低限の人数です。例えばケアが必要なお子さんが入園した場合は、追加の配置も考えています。</p> <p>また、STEAMS保育は子どもたちが進めていくもので、保育士は後押しをする役割であると考えているため、追加配置は必要がないと考えています。</p> <p>STEAMS保育の実施に向け、職員に対しては研修を実施して一人ひとりの力をつけていく考えです。</p> <p style="text-align: center;"><b>(A事業者退室)</b></p>

	<p>(B事業者入室)</p> <p>(プレゼンテーション)</p>
E委員	資料における地域子育て支援の箇所に記載されている保護者自身が主体となれる場の構築とは、こういった場を想定されているか具体例を教えてください。
B事業者	1階に交流スペースを設ける予定であり、核家族等の方々の友達づくりなどのために、講座など受動的なものでなく、保護者同士の関係性を構築できるイベント等の実施を考えています。
E委員	施設長として、本部との連携の取り方の想定を教えてください。
B事業者	弊社では、エリア園長及び統括エリア園長を配置しており、各園での悩みや相談事があった場合は、各園からエリア園長、統括エリア園長、本部のエリア担当と経由して相談を受け、常に本部と連携を照れる状態を確保しています。これにより保育園だけで問題を解決するのではなく、すべて本部にも共有する体制を取っています。
B委員	2・3階にあるみんなの大ホールがあり、固定的な物は置かないということですが、走り回ってしまうことでケガにつながる危険もあると思います。 その中で、0歳から2歳がいる2階にある大ホールと3歳から5歳がいる3階にある大ホールに使い方の違いはありますか。
B事業者	園庭がないので、幼児に関しては大ホールで体をたくさん動かしてもらおうとともに、乳児はゆったりとした環境で遊ぶ想定です。また、乳児と幼児に分かれて遊ぶことに加え、一緒になって遊ぶことも考えており、危険性の認識をさせた上で、幼児に対して乳児と一緒に遊ぶときの遊び方を考えさせることも重要と考えています。
B委員	交流スペースは主にどのような方がどのように利用することを想定していますか。
B事業者	こちらは地域の子育て世帯の方に開放する予定です。事前登録で、名前や顔の確認をした上で入室し、午前と午後の2時間程度で分けて利用していただく予定です。また、保育園の保護者同士のお話ができる空間としての活用も検討しています。
C委員	保育の中核に、丁寧に寄り添うという考えを持っていますが、職員一人一人の「丁寧」の認識を合わせることが難しく思いますが、どのように認識や実践の統一を図る予定でしょうか。
B事業者	当社では、現園長同士で作成した「丁寧」な保育の手引きを定期的に読み合

	<p>わせるなど、職員の意識付けを実施しています。</p>
C委員	<p>それでもなお丁寧でない職員がいた場合の対応はどうされますか。</p>
B事業者	<p>職員に直接伝えることもひとつですが、その職員が丁寧な保育をしていない自覚がないことも考えられるため、同一体とがあったのか等、職員会議などで話し合い、コミュニケーションをとることや職員同士で他クラスの見学に行つて勉強会をするなど、話し合う機会をたくさん設けています。</p>
C委員	<p>次に個人情報保護について伺います。ホームページにあるブログに対して閲覧を保護者に限定するなどの制限はかけていますでしょうか。</p>
B事業者	<p>現段階ですと、誰でも見ることができる仕様になってはいますが、保護者1人ひとりに同意書を取った上で、保護者の意向に沿った細かな対応をして掲載しています。写真の保存については、できないよう対応をしています。</p>
C委員	<p>将来的に何か対応はお考えでしょうか。</p>
B事業者	<p>考えてはいますが、防犯上の課題がある一方で、園の雰囲気を感じて入園に繋がることもありますので、検討させていただきます。</p>
D委員	<p>デジタル砂場について質問です。事業者におけるこれまでの実績と施設長の考えるデジタル砂場の有効性を教えてください。</p>
B事業者	<p>本施設は園庭がありませんが、子どもに土で遊ぶ経験を提供し、感触などを楽しませたいと考えております。</p>
D委員	<p>デジタル砂場は乳児にはいいと思いますが、幼児には物足りなさもあると思います。その点はいかがでしょう。</p>
B事業者	<p>乳児と幼児と一緒に互いを思いやりながら遊ぶことを想定しております。また、幼児に関しては物足りない部分もあると思いますので、公園や近くの砂場でもたくさん遊ばせたいと考えています。</p>
D委員	<p>医療的ケアが必要な子どもの受入れについて伺います。実績があるとのことですが、保育士の配置や医療機関との連携、通常クラスとの関わりについてどのように考えていますか。</p>
B事業者	<p>自治体と保護者としっかり面談を行うとともに、子どものかかりつけの病院に行き、医師からの診断や対話を通して安全を確認した上で、お預かりしています。</p> <p>また、事例を交えてお話ししますと、日常の過ごし方については、お子さん一人ひとりに必要なケアや適切な保育が異なるため、始めは医療的ケアの部屋</p>

	<p>で医療的保育士と担当保育士が付いて園に慣れてもらい、徐々に同年代のお子さんとの関わりを増やしていきました。</p> <p>現在は、同年代のクラスで生活し、医療的ケアが必要な時や体調不良の時などに医療的ケアの部屋を活用するなど、お子さんの状況に応じて柔軟に園生活を行っています。</p> <p>職員体制については、現在受入れを行っている園では看護師と担当保育士を配置しております。これに加えて、職員全員が声掛けを行うことのみinnで見守っているような状態を取っています。</p>
D委員	<p>医療的ケアの部屋が狭そうですが、何人程度の受入れを考えていますか。車いすに乗っているお子さんの受入れなどはいかがお考えですか。</p>
B事業者	<p>受け入れ人数は2名程度を想定しています。</p> <p>その2名とも車いすに乗っているお子さんであった場合は狭くなっていますが、私たちとしては同年代のクラスに入って保育をすることを基本的に想定しています。また、保育室のほかにも広いホールがありますので、そういったスペースも運用でうまく活用できればと思います。</p>
D委員	<p>課題解決委員会について伺います。今まで経験してきた中で感じた課題解決委員会の良さを教えてください。</p>
B事業者	<p>課題解決委員会は、研修委員会などに分かれ、各園長が、自分が学びたいテーマを選択して参加し、1年をかけて活動した上で、最後に成果発表を行うものです。私が参加した研修委員会では、園長だけでなく保育士も参加して、他園の課題や解決策を学び合うことで非常に勉強になりました。</p>
A委員	<p>今回の保育園を運営するに当たって、他の園にはない特徴はどこですか。</p>
B事業者	<p>室内遊び場や一時預かりなどの施設が充実していることから伸び伸びと交流ができる点、医療的ケアを実施する点と考えています。</p> <p>さらに、地域の方向けの子育て支援を行う点も、周辺地域のニーズに対応した特徴と考えています。</p>
A委員	<p>不適切な保育の防止対策のマニュアルを作成した背景あったのでしょうか。</p>
B事業者	<p>ヒヤリハットの事例は少しでも気づいた点は全員が必ず出すとしているため、それをマニュアルという形として作ったという流れです。</p> <p style="text-align: center;">(B事業者退室)</p> <p style="text-align: center;">(C事業者入室)</p> <p style="text-align: center;">(プレゼンテーション)</p>
E委員	<p>まず、資料のつながり保育の箇所において、地域と児童・保護者とのハブと</p>

	<p>いう記載がありますが、この役割を担うに当たって重要だと考えるポイントなどがあれば教えてください。</p>
C事業者	<p>つながり保育については、基本は一緒ですが、各園においてその地域性や保護者、子どもに合わせて園が主体性をもって運営していくことを重要に考えています。本部はそれを研修や運営体制の構築などで支えております。</p>
E委員	<p>次に、園を孤立させない体制を本部と築いているとありますが、施設長候補者として本部との連携の具体例を教えてください。</p>
C事業者	<p>現在も実施しているのですが、本部とは普段の保育のやり方を相談したり、他園との情報共有を経由してもらい、自園の保育に生かすなど本部と連携をして、子どもたちに還元していきたいと考えています。</p>
B委員	<p>3歳から5歳の保育室は、2つに仕切れる1室になっており、異年齢保育の実施を想定されているのかと思いますが、時間や年齢毎にどのような使い方や保育を考えているのか教えてください。</p>
C事業者	<p>施設計画の観点からは、各歳の保育と異年齢保育や静の活動と動の活動など、その日の保育環境の設定や遊びの内容に応じて、使い分ける想定のため、広い空間で仕切りもできる部屋を確保しています。</p> <p>また、保育の観点からは、少子化が進み減っている、家庭内での兄弟との関わりという体験を、異年齢保育を通して園の中で提供するとともに、各歳保育と異年齢保育の良い点を組み合わせ、お子さんの状況に合わせた柔軟な保育の提供もしたいと考えております。</p>
B委員	<p>3階にあるプレイコートは、3歳から5歳には若干狭いかと思いますが、使い方の想定を教えてください。</p>
C事業者	<p>プレイコートだけでなく、ホールや水遊びスペースを使うことや、クラスの全員でなく一部が遊ぶなどの運用をすることにより、うまく活用していきたいと考えています。また、今後、室内用の砂場や遊具の設置など柔軟に使用するフリースペースとしても想定しています。</p>
C委員	<p>施設長候補者に伺います。異年齢保育は、上の年齢の子どもの遊びを下の子どもが真似していくような遊びの伝承が最大のメリットだと思いますが、5歳児の遊びがすごく発展してきたという一例があれば教えてください。</p>
C事業者	<p>現在私が勤めている園の5歳児はそれぞれの興味に応じた遊びを行っていますが、その中でも一番人数を集めていたのが町を探検した上でのジオラマづくりです。そのジオラマを廊下に展示して、下の年齢の子どもたちに見せながら、どんどん範囲を拡大していくことを行いました。</p>

C委員	その場合、多くの素材を必要とするかと思いますが、環境構成と言いますか、素材をどのように配置していますか。
C事業者	現時点では、保護者やスタッフで集めた素材や制作に必要なハサミやテープなどは、常に区分分けされて決められた場所に用意しています。
D委員	施設長候補者がこれまで実際に受けてきた本部のサポートで本当によかったという例を教えてください。
C事業者	一番は、園内のスタッフからの悩みへの相談対応です。評価者である施設長だと近すぎて相談しづらいことも素直に話すことができるようです。施設長としても、本部からフィードバックをもらい、スタッフへの今後のアプローチ方法を工夫できるなど、役立てることができ感謝しています。
D委員	法人の代表者として、職員育成で一番大事にしていることを教えてください。
C事業者	我々は会社として、保育を一生の仕事にできる環境を作るということをスローガンにしています。そのために待遇面の改善、保育を楽しんでもらえるような研修の実施という形で、段階を踏んで実施をしております。
D委員	施設長候補者として実感はありますか。
C事業者	園長に対する研修は、研修内容はもちろん、それを下の職員に共有するところまで考えて作ってくれている実感があります。
D委員	港区での実績も多い中で、今回の公募に参加いただいたところですが、子どもへの思いはどのようにお考えでしょうか。 我々は、子どもたちは日本の未来であり、子どもへの保育や教育は日本の明日をつくると考えています。そのため、しっかりと地域に根差し、子どもたちに様々な体験を提供したいと考えています。 実際には、地域や保護者、お子さんによって状況が異なるため、各園長に一定の権限を持たせ、各園に合ったものを選択して提供する体制を取っています。運営という観点では非効率であるなど、なかなか難しいこともありますが、今回の施設長候補者はそれがしっかり実践できる者だと思っており、今回応募しています。
A委員	今回の園では異年齢をベースにした保育をされる予定でしょうか。
C事業者	基本的に3歳から5歳は異年齢保育を実施しますが、異年齢保育のみとは考えてなく、施設毎に同年齢での保育と異年齢での保育の時間のバランスをすごく考えながら保育をしています。今回の施設長候補者は環境設定が得意であり、様々な保育ができるものと期待しています。

A委員	<p>施設長候補者に伺います。今回の園では0歳児から異年齢保育を開始する計画ですが、進め方で意識する点を教えてください。</p>
C事業者	<p>開設当初は、幼児クラスの人数が少ないため、年齢ごとの人数のバランスを意識しながら進めています。</p>
A委員	<p>1次審査の資料の中にありました、ドキュメンテーションの投影は、全クラスの様子を投影するのでしょうか。</p>
C事業者	<p>その想定です。例えば登降園の際などに各歳の保育の様子を投影して、上の子になった際の過ごし方のイメージをつかんでもらったり、逆に下の子の様子を見て昔を懐かしんでもらったりなど、活用したいと考えています。 また、給食の献立など保育に関する情報も発信できればと考えています。</p>
A委員	<p>これまでも御社の中でこういった試みはあったか教えてください。</p>
C事業者	<p>弊社では既に行っており、今回の施設長候補者はその中でドキュメンテーションをうまく活用しており、例えば、ドキュメンテーションを日誌にして、保育士に時間的な余裕をつくり、保育活動に専念できるような体制を整えています。また、子どもにとっても活動の振り返りなどもでき、よい影響が期待できます。</p> <p style="text-align: center;"><b>(C事業者退室)</b></p>
委員長	<p>(審査集計) それでは、各委員から講評をお願いいたします。最初にE委員からお願いします。</p>
E委員	<p>A事業者ですが、運営の考え方等はよく考えられていたが、施設長の考えをもっと具体的に伺いたかったところです。 B事業者については、計画はしっかりとしていましたが、質疑においては具体性に乏しく、これなら大丈夫とまでは感じられませんでした。 C事業者については、施設長候補者の方の実体験等が聞いてよかったと思います。</p>
B委員	<p>A事業者は施設の設計はよくなされていますが、独自性に乏しく感じました。また、施設長候補者のやる気は感じましたが、質疑の中で少し頼りなさを感じました。 B事業者については、施設長候補者がしっかりとした考えを持っているということが一番印象に残りました。また、医療的ケア児のところもしっかりとした考えを持っていると感じました。 C事業者については、質疑の中で施設長候補者からも実体験の話もあり、実現性が高いように感じました。</p>

C委員	<p>まず、施設長候補者を比較すると、A事業者の施設長候補者は、人柄はよさそうですが、具体性に欠ける印象でした。B事業者の施設長候補者は統括園長も担われていることもあるのか考えや受け答えがしっかりしている印象です。C事業者の施設長候補者は少しもったいなかった印象でした。</p> <p>A事業者のプランは実現が可能なのかという印象です。一番実現可能と感じたのはB事業者で、それにC事業者が続くという印象でした。</p>
D委員	<p>施設長候補者の考え方やカナルサイド高浜としての特徴が出せるのかという視点で見ました。</p> <p>C事業者の施設候補者はもっと自分の言葉で話して欲しかったという印象です。A事業者の施設長候補者の質疑においては、実現性が不明確と感じました。B事業者は事業者として実績もある、医ケアの実施を考えているというところで意欲を感じました。</p>
A委員	<p>A事業者は非常に特色のある保育を実施予定ですが、実現できるのか不安を感じました。B事業者については、丁寧な保育という基本に立ち返るということは重要と感じましたし、施設長候補者の考えもしっかりしており、子どもを一番に考えた保育を実践していただける期待がもっとも高いと感じました。C事業者については、保育の内容は実現可能と感じましたが、資料を通して子どもの姿が想像しづらく、もっと施設長候補者に話してほしかったです。</p>
委員長	<p>各委員からの講評は終わりました。事務局から集計結果の報告をお願いします。</p>
事務局	<p>点数の確定ということで報告させていただきます。</p> <p>それでは、まずA事業者の第一次審査が969点、第二次審査において325点ですので、合計1,294点。得点率71.9%。B事業者が、第一審査が933点、第二次審査が370点、合計1,303点です。得点率72.4%。最後にC事業者は、第一審査が891点、第二次審査が335点、合計1,226点です。得点率は68.1%でした。</p>
委員長	<p>事務局からの報告どおりの点数で確定してよろしいでしょうか。 (全員承認)</p>
委員長	<p>議題2 整備・運営事業候補者の決定について</p> <p>今回は3事業者からの応募でございました。当委員会での審査の結果、B事業者を整備・運営事業所事業候補者として、2位のA事業者を次点とすることで、よろしいでしょうか。 (全員承認)</p>
委員長	<p>ありがとうございます。それでは、決定した整備・運営事業候補者を事務局から発表してください。</p>

事務局	第1位でしたB事業者は、株式会社セリオです。
委員長	当委員会ではカナルサイド高浜の建替に伴う私立認可保育園整備・運営事業候補者を「株式会社セリオ」とします。(結論)
	3 閉会 (閉会の挨拶)